

# 9 / 7 (木) の発表

報道発表資料の配付日時 9月7日(木) 10時00分

発表項目	秋山登山に関する注意喚起について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>秋山登山シーズンの遭難・事故等を未然に防ぐため、上川総合振興局、留萌振興局、環境省大雪山国立公園管理事務所及び旭川地方気象台では、連名により、別紙のとおり、秋山登山に関する注意喚起を行うこととしています。</p>		
参考			
報道(取材) に当たって のお願い	<p>報道各社におかれましては、秋山登山に関する注意喚起に向けて、積極的な報道をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	(場所) 留萌記者クラブ	
担当 (連絡先)	<p>担当：上川総合振興局地域創生部危機対策室（主幹：佐々木 憲一） TEL. ダイヤルイン 0166-46-5910</p>		

## 秋山登山は十分な準備・計画と登山届で 遭難事故を起こさないよう万全な備えを！

大雪山系・十勝岳連峰・暑寒別岳など道北地方の山は、本州中部地方の3,000m級の山に匹敵する厳しい気候です。

この秋、気温は平年並みか高く経過する見込みですが、山の気温は冬へと確実に向かっており、9月下旬頃からは平地では雨でも山頂付近は雪となり、積雪状態になることも珍しくありません。強風や雨、ふぶきによる体温の低下や体力の消耗を考慮し十分な準備・計画をしてください。

秋は日の入りが早まり、暗くなる時刻も早くなるので、きのこ採りや釣りなどで山に入る方も、道に迷わないよう早めの下山を心がけるなど十分に注意してください。

また、冬ごもり前で活動が活発化するヒグマから身を守る対策も忘れないでください。

### 《山に入る際の留意事項》

● 単独登山は避け、経験あるリーダーのもと、各自の体力と経験に応じた無理のない、ゆとりを持った計画にしましょう。緊急用の避難コースや予備日も考慮に入れて計画を立てましょう。

● 大雪山国立公園では登山道の区間毎の難易度等を5段階に区分した「大雪山グレード」を設定しています。山行計画の際に確認し、力量にあった登山を行いましょ。また、最新の登山情報を提供していますので、確認してください。

大雪山グレード ▼検索



大雪山 登山情報 ▼検索



● 装備・持物・服装を整え、十分な食料を用意しましょう。**特に着替えを含め、防寒の準備は万全に！**

● 緊急時に備えて、携帯電話や無線機などを携行しましょう。予備のバッテリーも忘れずに。また、予めスマートフォンの位置情報（GPS）機能等の利用方法を確認するとともに、万が一遭難して救助を求めるときは、すぐに110番通報しましょう。

● 登山届を必ず最寄りの警察署または交番・駐在所に提出しましょう。北海道警察本部地域企画課にFax（011-251-3535）で送付することも可能です。「北海道警察 安全登山情報」のページからオンラインで提出することも出来ます。

北海道警察 安全登山情報 ▼検索



● 道北地方の山では、9月下旬には初冠雪が観測され、山頂付近は雪で覆われます。出発前には最新の気象状況や天気予報を確認し、無理な行動はしないよう心がけてください。最新の気象状況は旭川地方気象台のホームページ等で確認出来ます。

旭川地方気象台 ▼検索



● 大雪山系や十勝岳連峰では、火山活動により有毒なガスが噴出しているところがあるので、立入禁止の場所には入らないよう気をつけましょ。また、事前に気象庁の「火山登山者向けの情報提供ページ」で火山活動に関する情報を入手ましょ。

気象庁 火山 ▼検索



● 大雪山系や十勝岳連峰は国立公園内です。自然を保護するため、ゴミは持ち帰り、トイレのない場所では携帯トイレを使用し、動物や高山植物等を傷つけないよう注意ましょ。特にヒグマを人慣れさせないためにも食料は絶対捨てないようにましょ。また、指定場所以外でのテント泊及び火気使用は控えてください。

本件の問い合わせ先： 上川総合振興局 地域創生部 危機対策室  
留萌振興局 地域創生部 危機対策室  
環境省 大雪山国立公園管理事務所  
旭川地方気象台（火山防災担当）

Tel (0166) 46-5918  
Tel (0164) 42-8426  
Tel (01658) 2-2574  
Tel (0166) 32-7102